



大局観を持って

大局観とは将棋や囲碁などの盤面を観察し的確な判断を行う能力をいう。大局観を持つと、部分的なせめぎ合いにとらわれず、駒がぶつかっていない場所から意表をつく戦略をとるなど長期的かつ全体的な視野のもと、手を進めることが可能となる。

逆に**大局観が備わっていないければ、盤上の一部での駒のぶつかり合いや、短期的なコマの損得しか考えられなくなり最後には負ける。**

会社のトップに立つ経営者に大局観が備わっていないとどうなるか？それは別府・高崎山の猿に学ぶ。ボス猿は喧嘩が強いただけではボスにならない、猿望(人望)がなければボスにならない。

あと一つ欠かせないものが大局観である。まずボス猿たる自分がリーダーとは何かを知らなければならぬ。環境が安定し群の猿たちが飢えないだけの餌がある平時は仲間の喧嘩仲裁だけでよい。しかし、寒くなったり、餌が少なくなったりした時がボスの出番。大局観を持って群を安全で快適な場所へ引っ張って行く。これがボスの役目。社長は大局観を持って。

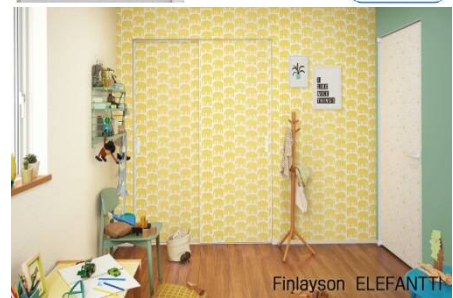
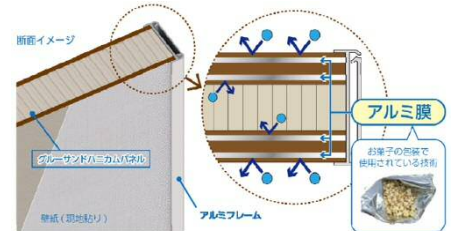


情報提供: 特別情報誌

自由なインテリアコーディネートが可能になる室内ドア。

YKK APは4月3日、壁面と同じように好きな壁紙を貼ることができる業界初のインテリアドアシリーズ「famitto(ファミット)」を発売する。子どもの成長やライフスタイルの変化にあわせてドアの色柄を模様替え感覚で変えられるようになる。

これまで室内ドアといえば木調デザインが主流で、“壁紙を貼る”という発想の商品がなかった。また、そもそも壁紙施工に耐えうる商品がなかった。壁紙を貼る際に使う水糊の影響で木質ドア表面のMDFが膨張・収縮して反りが生じ、閉まらない、光が漏れるといった不具合のもとになるためだ。ファミットは、壁紙を貼れるよう本体を反りにくい構造にした。フレームはアルミ、面材は紙製のハニカムパネルを厚3ミリのグルーサンドパネル(2層のアルミ膜と再生紙の段ボールを組み合わせた硬質素材)でサンドイッチした構造。参考価格は6万円(片開きドア、アルミ3方枠・ハンドル込み、W785xH2033、壁紙は別途)。



情報提供: YKK・新建ハウジング

4月の住宅ローン平均金利はじわり上昇

	3月金利	4月金利	金利差
三菱東京UFJ銀行	0.550%	1.050%	0.500%
三井住友銀行	0.800%	1.050%	0.250%
千葉銀行	0.900%	1.000%	0.100%
岩手銀行	1.100%	1.200%	0.100%
京葉銀行	1.150%	1.250%	0.100%
北九州銀行	1.150%	1.250%	0.100%
山口銀行	1.150%	1.250%	0.100%
池田泉州銀行	0.650%	0.750%	0.100%
静岡銀行	1.000%	1.100%	0.100%
みずほ銀行	0.825%	0.875%	0.050%
東京都民銀行	1.150%	1.200%	0.050%
中京銀行	0.850%	0.900%	0.050%
八十二銀行	1.450%	1.500%	0.050%
ソニー銀行	0.865%	0.906%	0.041%
三菱UFJ信託銀行	0.580%	0.610%	0.030%
楽天銀行	1.123%	1.145%	0.022%

全国763金融機関の住宅ローンプランを比較できる「WhatzMoney住宅ローン」を運営するWhatzMoney(東京都目黒区)は4月4日、独自に調査した4月実行分のローン金利状況を公開した。

10年固定金利型住宅ローンの金利は、基準となる10年国債金利が0.06%前後でほぼ横ばいに推移する中、一部銀行で金利引き上げの動きがみられた。**主要73行の平均金利は1.010%(前月比+0.019%)となった。**今後、FRB(米連邦準備理事会)が予定する年内2回の利上げにより金利上昇する可能性はあるが、日銀が長期金利を0%程度に誘導する金利操作政策を継続する姿勢を見せており、急激な金利上昇はないとみられる。また、世界的には金融引締めトレンドになっており、一方的に低下することはないと予測する。変動金利型の金利は、一部銀行で金利引き上げの動きが見られたことで僅かながら上昇した。4月に金利を引き上げなかった銀行も、近い将来、金利引き上げの動きをみせる可能性がある。

主要銀行の全新規借入プランの最低金利では、初めて0.300%のプランが出現した。対象プランは三菱UFJ信託銀行の固定3年・5年のプランで、教育資金贈与信託の利用が条件になっている。

情報提供: 新建ハウジング